

直接参入

有限会社川崎電気（中山町）

代表取締役 川崎勝則

社長さんは
こなかた

従業員のために、地域のために、新しい特産品を育てようとする挑戦者。

有限会社川崎電気

事業内容 電子部品製造
果実（ブルーベリー）
生産・販売
鳥取県西伯郡中山町栄田 6 1 3 - 3
(0858)58-3951
(規模)
果樹（ブルーベリー）700本

きっかけは農業新聞

主たる事業は電子部品の製造です。メーカーの生産ラインが中国へ移行するにつれて本業の電子部品の受注が減少したため、雇用維持や地域産業に役立つ新しい事業として農作物を検討していました。実家が農家であるため、新しい事業の検討が農業へ向いたのは自分としては自然な成り行きでした。そんな時に、農業新聞で紹介されていたブルーベリーの栽培に目が止まったのがきっかけです。

新感覚農業のコンテナ栽培

着目したのは、コンテナ（バッグ）でのブルーベリー栽培でした。京都の会社が販売する苗と栽培プラントで、露地栽培にくらべて苗木の育ちが早く、従来品の3倍の収穫が得られるものです。コンテナ栽培なので苗木が育ってから自由に移動・配置ができるのも魅力です。

うちの場合は、工場の駐車場だったところを栽培場として使っています。農地で栽培する必要が無いわけです。

風害をもたらした大発見

初めて苗木を購入した翌年、強風に遭いせっかくつけた花芽を殆ど失ってしまい呆然としました。しかし、その後予想しなかった変化が起きました。次の1年で驚くほど木が成長したのです。これには販売会社の担当者も驚き、結局苗木の段階では結実させないことで木の生長を促すことがわかり、今では貴重なノウハウになっています。うちの木は、わずか2年半で5年生のような育ち方をしています。

毎年行う花芽を落とす作業や、収穫期は少し忙しくなりますが、場所が元駐車場なので工場の従業員が出てきて手伝ってくれます。





本業にも繋がった

うちの育て方では木は驚くほどよく育ち、大きくて甘い実がたくさん付きます。出荷は100%生で出していますが、今は新しい提供方法も考案して実施するところです。それは実がたわわに付いた状態で、コンテナごとリースする事です。ケーキ屋や施設などにリースする事で、その場で収穫していただき、観賞用としても喜んでいただけます。

このアイデアをプラント販売会社に提案したところ、コンテナ単位での栽培制御機を商品化するという事で、本業のほうで制御盤の製造を受託しました。意外なところで本業につながったのです。

この栽培は、農地では無い場所で行う事ができるので、異業種からの参入に適しています。また、当社のように直接参入できるのも魅力です。いずれは地域の特産品に、とって共に取り組む仲間を求めています。

